



「いわき復興ソーシャルビジネス・ギャザリング」 地域共通テーマ議論のとりまとめ

いわきには海と山が隣接した、市民が誇れる豊かな自然があります。また大合併都市であるが故に、個々の地域がそれぞれに特性を維持している土地でもあります。しかし震災と原発による影響は、私たちの愛する環境を変えてしまいました。今この土地に住む市民の多くは、「地域資源である自然や自然の恵み、環境、コミュニティ」に対する自信を失いかけているのかもしれない。

私たちは失ったものは大きいけれど、視点を変えれば新しいアイデンティティを形作るチャンスを得たとも考えられます。まずは私たち自身が、地元の良さを再確認し、愛着と誇りを持ちなおして、県内外のみなさんへアピールすることが必要なのではないかと思います。

【具体案】

- ・ 外部にアピールする前に市内で、理解を深め自信を持てる場をつくろう
- ・ 市民ひとりひとりが観光大使になるつもりで、地元を好きになれる試みをしてみよう
- ・ 市民ひとりが10人のいわきファンをつくる運動を広げよう
- ・ 食の安心・安全だけでなく、いわきの地が横浜や渋谷と同じ線量であることを理解してもらおう
- ・ 地域のコミュニティや行事・慣習を継続するために、地元企業や団体にも理解と協力をしてもらおう
- ・ 海を見えなくしてしまった防潮堤周辺をイルミネーションで飾り、観光や防災に役立てよう
- ・ サーファーや釣り人に、自発的な地域PRを呼びかけよう
- ・ 異業種の人と繋がる場をもっと作っていこう
- ・ 各土地に地域性があることを逆に強みにして、互いを育てあえる試みを考えよう